

症例検討会 番号	第 5 回 case9
年齢(代)	50 代
性別	女性

S (subjective) : 主観的情報

主訴	頭痛、耳閉感
既往歴	(アレルギー)スギ、ヒノキ (手術歴)なし (出産)なし (事故)不明
家族歴	(父) (母) 大腿骨頸部骨折(x+1 年) (子)
現病歴	(医師による診断名)片頭痛、航空性中耳炎(x+2 年 4 月)
	(発病様式・内容・経過) x 年 4 月初診、「肩こり」「両手首の労作性の痛み」を主訴として来院。問診により、慢性的な睡眠不足(マイスリー)、手足の冷え、易疲労感、片頭痛(診断有)があるとの事であった。 仕事柄、生活リズムが不安定で、30 年来の労作性疲労感も蓄積しているとの事であった。
	(服薬)漢方(漢方クリニック)、クラリスロマイシン錠(耳鼻科)、ビタミン E 製剤 (サプリ)E P A、ビタミン C、エクオール

O (objective) : 客観的情報

初診日	x 年 4 月 (症状発症は x+2 年 4 月)
所見(脈・舌・バイタル等)	(バイタル) (脈) 数、実、弦 (舌) — (腹) — (硬結) 後頸部、肩背部、鳩尾 (圧痛) (腫脹)

A (assessment) : 評価

評価・弁証	(弁証) 鬱証(気鬱化火)
	(評価法) 中医学 (流派)

P (plan) : 計画 (治療)

計画・治療・指導	(取穴)後頸部、背部兪穴(特に心兪、肝兪、脾兪、腎兪)、太衝、曲泉、足三里、手三里、腹部散鍼、亜門(刺絡)、大椎(刺絡)
	(刺鍼法) 浅置鍼 (時間)10 分
	(得気)無 (深さ)2~4 mm
	(頻度)1/w

	<p>(指導)</p> <p>食事：滋陰・補腎を目的とした食事、山芋・きくらげ等</p> <p>自宅灸：足三里(1/d、1 壮)</p>
経過	<p>x 年 4 月の初診後、すぐに漢方との併用が効果的と考え、漢方クリニックを紹介した。</p> <p>x 年 5 月に漢方クリニック受診。</p> <p>その後、定期的に漢方クリニックを受診(1/m)し、鍼灸院には 2～3/m のペースで来院していた。</p> <p>x+2 年 1 月に仕事上のテストがあり、強いストレスを感じていた。この頃から仕事時の耳閉感を伴った頭痛が強くなり、x+2 年 4 月に漢方クリニックから紹介された総合病院耳鼻科で航空性中耳炎の診断を受けた。耳鼻科でクラリスロマイシン(容量不明)と漢方クリニックで漢方(半夏厚朴湯、人參湯、頓服薬)・サプリ(E P A、ビタミン C)、鍼灸施術を行った。</p> <p>x 年 6 月に仕事に復帰し症状の再発はなかった。</p> <p>x+5 年 2 月、片頭痛 VAS 値 20/100、通院 2/m(頭痛の頻度少なく、生活に支障ない)</p>
特記事項	

症例検討会用シート

部外秘